

第74回大分県民体育大会スキー競技会における新型コロナウイルス感染症対策基本方針 (大分県スキー連盟主管大会における新型コロナウイルス感染症対策 基本方針)

本方針は、九重森林公園スキー場で開催する「大分県民体育大会スキー競技会」、
ならびに「大分県スキー選手権大会」、「全九州ジュニアスキー選手権大会」の実施にあたり
感染予防対策として基本的な方針を整理したものです。

参加選手・監督、大会役員の関係者及び郡市役員の方は、本方針を遵守するものとします。

<共通予防対策>

- 手指衛生の励行
- 競技およびウォームアップ実施時以外、常時マスクの着用
- ソーシャルディスタンスの確保
- 3密（密閉空間・密集場所・密接場面）の回避
- 毎日の健康行動の記録（健康チェックシート）の事前提出・必要に応じた事後報告
- 体調不良の場合（例：発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など）参加自粛
- 大声での会話・応援の自粛
- 選手、関係者、観客などのゾーニング確保
- 新型コロナウイルス接触アプリ（COCOA）のダウンロード推奨

<参加者の遵守事項>

- 大会参加者（選手・監督・大会役員・郡市役員）に以下の周知を求めます

○大会2週間前から大会当日まで

下記事項に該当する場合は参加は認められない

- ・発熱（37.5℃以上）がある
- ・せき、喉の痛みなど風邪の症状がある
- ・だるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある
- ・嗅覚や味覚の異常がある
- ・体が重く感じる、疲れやすい等の症状
- ・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触歴がある
- ・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる
- ・参加14日前までに政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある、または当該在住者との濃厚接触歴がある

○大会当日

- ・抽選会終了後にスタートリストに応じた集合時間を設定するので各選手はその時間に
合わせて受付に集合すること

- ・受付、検温終了後は、センターハウス内に留まらず、速やかにゲレンデに移動すること
- ・参加者には「健康チェックシート」を記入してもらい下記のとおり提出を求める
- ・大会2週間前のもものは大会当日、各郡市代表者から提出を求める（大会当日の体温も記入すること）
- ・健康チェックシートにおいて、直近の2週間に新型コロナウイルス感染症の疑いの症状が見られる場合、大会への参加は認められない
- ・大会終了後2週間の記入をしてもらい、必要に応じて提出を求めるものとし、症状などがある場合は、大分県スキー連盟関係者まで連絡すること
- ・「健康チェックシート」は個人情報保護を遵守、大分県スキー連盟責任者がチェックし管理する

<スキー場内>

- スキー場内全般
 - ・スキー場の新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みを遵守すること
- リフト乗車
 - ・リフト乗車に際しては、予め設定されたグルーピングを維持し、スキー連盟役員等の誘導に従い1～2mの対人距離を保つこと
 - ・マスクを着用し会話は控えること
- 洗面所・手洗い場所
 - ・スキー場の感染拡大防止の取組みの指示を遵守すること
- 更衣室
 - ・スキー場内の更衣室の使用は控え、着替え等の準備は車で済ませること
- 飲食
 - ・スキー場内では指定場所以外では行わないこと
 - ・食事を摂取する際は個別に行うこととし、やむを得ず複数で行う場合には1～2mの十分な距離をとり、対面しないように摂取すること
 - ・食事中の会話は控えるようにすること

<大会準備>

- 大会受付
 - ・設営では、手指消毒剤、アクリル板（対面接触によるリスク軽減のため）など接触感染予防への対策を図ることとし、受付をされる方はソーシャルディスタンスを取ること
- チューンナップ
 - ・スキー場内では行わないこと
- 大会会場内
 - ・大きな声での会話や近い距離での会話を行わないこと

- ・すべての場面で1～2mの対人距離をとって行動できるようにすること
- ・競技時以外はマスク、フェイスガード、ネックウォーマー等を着用すること
- ・外したマスクは自身で管理できるよう袋などに入れること

<競技、競技前後>

●選手・監督

○スタートエリア

- ・大きな声での会話や近い距離での会話を行わないこと
- ・常時マスクを着用すること。ネックウォーマーなども可能とする
- ・ウォーミングアップの際は、十分な距離を保つことで、マスク等は外して良い
- ・選手同士、大会役員等とは1～2mの対人距離を取ること
- ・外したマスクは、袋などで自身で保管し、第三者が直接触れないよう徹底すること

○コース内・インスペクション

- ・インスペクションは、間隔をとり分散を図るとともに1～2mの対人距離を取ること
- ・選手同士、大会役員等とは1～2mの対人距離を取ること
- ・呼吸が落ち着くまでマスクの再装着は強要しないが、対人距離を確保し咳エチケットを守ること

○ゴールエリア

- ・フィニッシュエリアから出た選手は1～2mの対人距離を取ること
- ・ビブは選手個人が回収袋に投入すること
- ・ゴールエリア等での滞留は避け、握手やハイタッチ等の行為はしないこと

●大会役員

- ・大会役員は常時マスクもしくはフェイスシールド（防寒・暴風用のフェイスマスクと、ゴーグルやサングラスでも可。）を着用し、近距離での会話は避けること
- ・コース設営・整備する場合は常時マスクを着用し、コースサイドで待機中は、役員同士での近距離・対面での会話は避けること
- ・筆記用具やトランシーバーの共用はしないこと
- ・競技中の転倒やコースアウト等で救護が必要になった場合、救護者はマスク・フェイスシールドを着用すること

●郡市役員

- ・常時マスクを着用すること。ネックウォーマーなどでも可能とする
- ・大きな声や近い距離での応援は避け、他の人と1～2mの対人距離を取ること

<開会式、閉会式>

●開会式

- ・開会式の開催は行なわない
- ・監督会議は必要最小限の人数により開催する

●閉会式

- ・成績発表は掲示のみとし、閉会式、表彰式は行わない
- ・メダル、トロフィーなどは代表者にまとめて渡すものとする
- ・集団でのミーティングや懇談は行わないよう周知すること